

愛知県ハンガリー友好協会会報

2018年春号

《ハンガリーフェスティバル in 愛知》

“日本とハンガリー、交流する文化、食・俳句・音楽”

若葉の鮮やかな季節、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

さて、恒例の「ハンガリーフェスティバル in 愛知」は、6月3日(日)13:30~16:30 名古屋国際センターホールにて“日本とハンガリー、交流する文化、食・俳句・音楽”と題して行います。

13:30~開会あいさつ

昨年はパラノビチ・ノルバート駐日ハンガリー特命全権大使とハンガリー日本友好協会会長ヴィハル・ユディット氏にご挨拶いただきましたが、今回はご講演をお願いできることになりました。



13:40~パラノビチ・ノルバート駐日ハンガリー特命全権大使の講演「日本-ハンガリー食文化交流」でプログラムをはじめます。パラノビチ大使はハンガリー最大の食肉加工メーカー、ピック・セグド社の東京事務所を立ち上げ、自らが代表としてご活躍。食べられる国宝・マンガリツツァ豚を日本に紹介してくださいました。来場者の皆様には交流会でマンガリツツァサラミを試食していただきます。大使の趣味は食文化の探求だそうです。日本からハンガリーへ、ハンガリーから日本への食文化交流の現況と発展について伺えると思います。

続いて14:05~ハンガリー日本友好協会会長で俳人のヴィハル・ユディット氏の講演「ハンガリーの俳句」です。

ヴィハル氏は世界俳句協会ハンガリー代表としてご活躍、『俳句のこころ』(1996)『松尾芭蕉の俳句』(1996)『ハンガリー語俳句千句』(2010)などの著書、松尾芭蕉「奥の細道」夏目漱石「坊っちゃん」川端康成「伊豆の踊子」などの翻訳も多数です。また、当協会の絵画交換プログラムでは大変お世話になっていて、ハンガリー側の小学校をご紹介くださっています。昨年引き続きまたお出でいただけることになり、とてもうれしいです。



14:30～は「ハンガリアンジプシー音楽の愉しみ」です。

ジプシーヴァイオリンの古館由佳子さんとアコーディオンの平賀康子さんの演奏をお楽しみいただきます。曲目はブラームス「ハンガリー舞曲第5番」、モンティ「チャールダーシュ」、作者不明「ひばり」「ジプシーメドレー」、ヨハン・シュトラウスⅡ「美しく青きドナウ」など、ジプシー音楽についてのお話などもあり、たっぷり40分の演奏です。古館さんは2008年にもお出でいただきましたが、この時は歌やヴィオラの方も一緒に古館さんの演奏は2曲ほどでした。今回は沢山の曲を演奏していただけるようで、きっと会場が盛り上がることでしょう。



15:30～16:30 みんなで交流しましょう!

ハンガリーのピックサラミ、ワイン、お菓子をお召し上がりいただき、皆さまとの交流のひと時をお楽しみください。

会場内ではハンガリー刺繍サークルの作品展とハンガリーの子供たちの絵画展（ヒームシュハージ小学校）も行います。

ハンガリー刺繍サークルは新しい作品がいっぱい出来上がっています。



ハンガリーの子供たちの絵画は、ペーチ市にあるヒームシュハージ小学校から50枚の絵画が届きました。今回はイースターについて描いてくれました。



イースターについての説明文も送られてきていて、展示と一緒にご紹介いたします。こちらからハンガリーには犬山の小中学生13人とその他17人の絵画と折り紙をお送りしました。ハンガリーでは9月に展示会をするそうです。

今回のフェスティバルも素晴らしい企画になったと思います。どうぞ皆様お誘い合わせでのご参加をお待ちいたしております。

《 ハンガリー語入門講座 》



「ハンガリー語入門講座」は毎月第2・4水曜日 10:00~12:00 名古屋国際センター5F 第5会議室で行っています。指導者はフルディ・タマーシュさんです。今迄の受講者は、リスト音楽院またハンガリーの大学医学部に留学予定の方、ハンガリーの日本企業に赴任予定の奥様、また、帰国された方、ハンガリー民俗舞踊や音楽を楽しんでいる方、語学に興味のある方などです。レベルは初心者から少し

できる方までいろいろですが、フルディさんはとても上手に教えてくださいました。発音についてはとても厳しいですが・・・。写真のこの日はフルディさんのお父様がいらして下さって会話の勉強をしました。お父様は日本語が全くできないので私たちのハンガリー語が通じるのかな？どうか理解していただけました。また、この講座内ではハンガリーの歴史や国内事情なども伺えるのでとても勉強になります。

《 ハンガリー刺繍サークル 》



「ハンガリー刺繍サークル」は毎月第3火曜日 9:30~12:00 名古屋国際センター3F 第2研修室で行っています。ハンガリーで学んでいらした齋藤照美さんの手ほどきで作品を作っています。この写真の日は早稲田みか先生にカロチャ刺繍についての歴史や作品について講演をしていただきました。ハンガリーで出版されている刺繍の本やその他の資

料を参考に、私たちのテキストも作っています。来年夏にはカロチャ刺繍をテーマに作品展を予定しています。

下の可愛い刺繍は刺繍の部分は皆同じです。レースのようになっている部分が違います。レースのような華麗な透かし装飾の技法はリシュリユと呼ばれています。皆さんそれぞれにお好きなデザインを決めリシュリユで華やかな作品に仕上がっています。



「ハンガリー語入門講座」「ハンガリー刺繍サークル」に参加しませんか？ハンガリーの文化を楽しみましょう！！

● コンサート紹介

ダニエル・オッテンザマー (クラリネット) & 金子三勇士 (ピアノ) 夢の競演



日時：2018年5月27日(日) 15:00開演 14:15開場

場所：しらかわホール

曲目：シューマン：幻想小曲集 作品73(デュオ)

コヴァーチ：ハンガリアン・フォーク・ソング(デュオ)

リスト：愛の夢(ピアノソロ)

ハンガリー狂詩曲第2番(ピアノソロ) ほか

入場料：全席指定

S ¥7,000 A ¥6,000 B ¥4,000 U25 ¥2,000

主催：東海テレビ

後援：駐日ハンガリー大使館

ー東海テレビホームページよりー

『ともに、母がハンガリー人という二人が、母なる国への想いを込めてプログラムを選曲しました。クラリネットの名家オッテンザマー家からウィーン・フィル首席奏者のダニエル・オッテンザマーが登場。弟はベルリン・フィルの首席奏者というスーパー・クラリネット兄弟の長男です。金子三勇士は、6歳で単身ハンガリーに渡り、11歳で国立リスト音楽院大学に飛び級で入学、16歳で帰国。2008年、バルトーク国際ピアノコンクールで優勝のほか、数々のコンクールで優勝。現在は、国内外で演奏活動を行うなど活躍中です。ハンガリーのキシマロシュ市名誉市民でもあります。

ハンガリーの香り漂う音楽とトークで楽しいひとときを！』

金子三勇士さんは4月からNHK-FM「リサイタル・ノヴァ」の支配人(司会)としてもご活躍です。(毎週日曜 午後8時20分 | 再放送 毎週金曜 午前9時20分)
ダイナミックでとても繊細なピアノと、素敵なお声のトークをお楽しみください。

● (公財)愛知県国際交流協会機関誌「あいち国際プラザ」(2018.3 No.124)

ハンガリーの家庭料理グヤーシュスープが紹介されました。

わたしのツウルフード ~第3回ハンガリーより~

◆このコーナーでは、これこそ我が国の家庭の味、故郷の味といった料理を紹介していきます◆

グヤーシュはハンガリーの代表的な家庭料理のスープで、かつて放牧や農作業をしていた農村部の人々が、昼食に時間をかけずに外で食事ができるように大鍋で作られたことが起源とされています。(「グヤーシュ」はハンガリー語で牛飼いを意味します。) 地方や家庭によって味が違い、日本の味噌汁のような存在とされています。

グヤーシュの材料は、牛肉とジャガイモ、タマネギ、ニンジン等の野菜ですが、特に欠かせないのがパプリカです。パプリカはハンガリー発祥とも言われ、その種類は150種類にも上ると言われています。日本でパプリカというと辛味の無いカラーピーマンがほとんどですが、ハンガリーでは辛味が強く、同時に独特の甘みもあって煮込み料理に深いコクを与えてくれます。日本ではピーマンでも代用できますが、ハンガリー風味にはパプリカパウダーが必須です。

3月になり春めいて来ましたが、まだ肌寒いこの時期には体も温まり、ビタミンCも豊富なので美容健康にも効果的です! フランスパンや赤ワインともよく合うので、ぜひ試してみてください!



《 ハンガリーのイースター 》

4月1日のイースターにちょうど里帰りをしていた理事の山口チーラさんからブダペストの町やお店の写真が送られてきましたのでご紹介いたします。



セントラルパークで春祭りみたいなイベント



お店のデコレーション

3月下旬のブダペストは良くない天気で寒い日が続いたそうです。道端で咲いているかわいいスマレの写真が届きました。



ハンガリーから届いた種で咲きました。

<事務局より>

「ハンガリーフェスティバル in 愛知」は、日本とハンガリーの文化交流をたくさん紹介できる素晴らしい企画になりました。皆様に楽しんで頂けるひと時になることでしょうか。チラシを同封いたしましたのでお友達にもご紹介ください。よろしく願いいたします。ご案内が大変遅くなりましたこと、お詫び申し上げます。